

ミニ企画展 ーサトミスタイルー

さとみあきまさ

油彩画・里見明正展

～ごあいさつ～

私たちの郷土・熊谷には、県下初の洋画団体である「坂東洋画会」の流れを受け継いだ「朱麦会」が活動をしています。この「朱麦会」を牽引し、多くの画家に影響を与えた人物として里見明正が挙げられます。

里見明正は、明治45年（1912）に生まれ、熊谷中学校（現在の熊谷高校）で大久保喜一に絵画を学び、東京美術学校（現在の東京芸大）油画科へ進学しました。卒業後は浦和の別所沼畔にアトリエを構えましたが、長男の死を契機として郷里の熊谷に戻り、昭和49年に亡くなるまで制作に打ち込み、後進の指導にあたりました。里見の作風は、主観性の強い表現主義的であり、里見特有のデフォルメされたフォルムを明快な色彩で描かれています。画業のほか里見は、熊谷市教育委員会委員長、同文化財保護審議委員、同文化連合会長などを務め、地域の文化振興にも大きく寄与しました。

今回の展示では、当館の所蔵品のうち、初期の作品からサトミスタイルと称される画風が確立された晩年の作品までを展覧いたします。繊細にして不羈奔放。情熱の画家とも称される里見明正について知っていただければ幸いです。



王家の谷 昭和48年



会期：令和3年6月8日（火）
～令和3年9月5日（日）

[休館日：毎週月曜日（祝日は除く）、6/29、6/30、7/2、8/6、8/10、9/3]

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

主催：熊谷市立熊谷図書館 住所：熊谷市桜木町二丁目33番地2 電話：048-525-9463



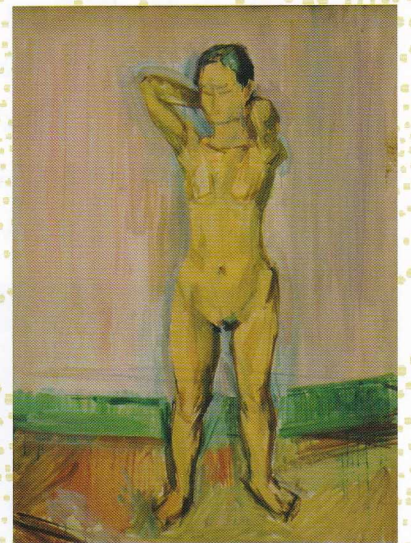
リラ 昭和41年



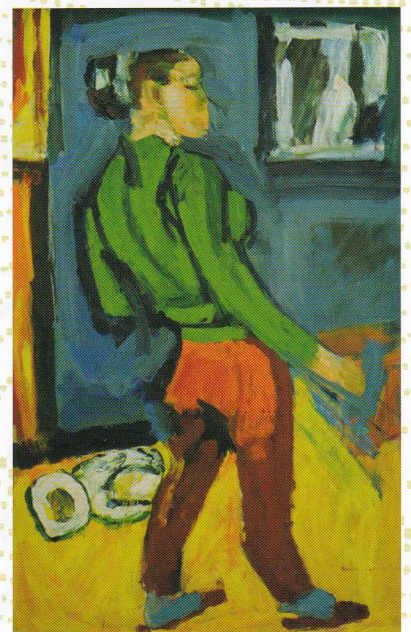
ヤギ(堤) 昭和18年 熊谷市指定文化財



墓地に運ばれたキリスト 昭和46年



裸婦 昭和10年



描く人 昭和39年

※このチラシは1,500枚制作し、制作費用は1枚当たり13円です。